

がん検診受診率向上のための事例集



令和7年3月
埼玉県保健医療部疾病対策課
がん対策担当

作成にあたって

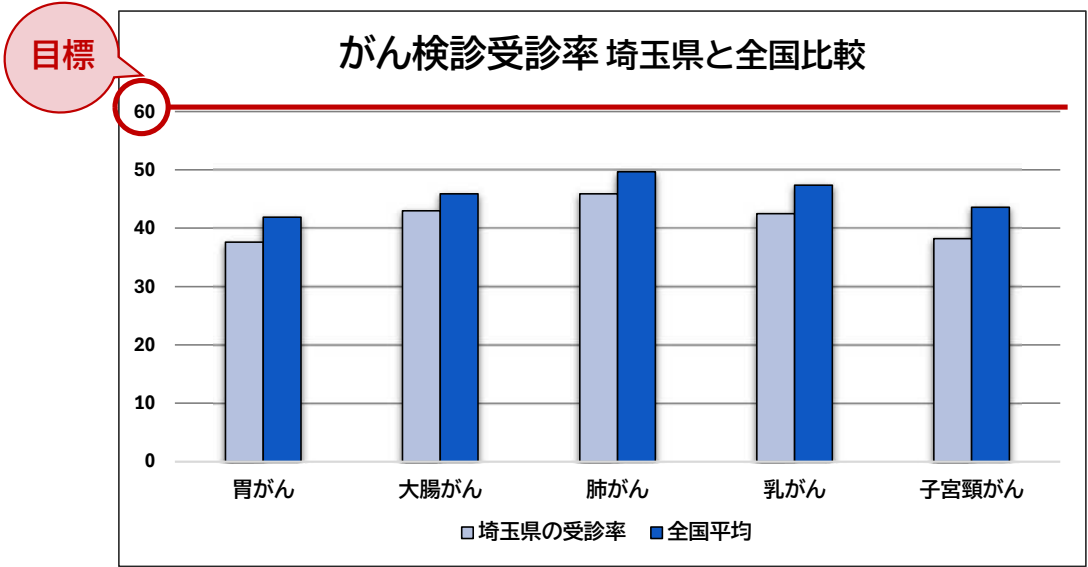
埼玉県では令和6年度から、「がん患者を含めた全ての県民ががんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐことや、誰もがいつでもどこに居ても、様々ながんの病態に応じた、安心かつ納得できるがん医療や支援を受け、尊厳を持って、暮らせること」を目指す、第4期「埼玉県がん対策推進計画」をスタートさせました。がんの早期発見・早期治療により埼玉県のがんの死亡率を更に減少させていくために、計画の目標指標としては、5つのがん種の受診率60%を掲げています。

しかしながら、令和4年の国民生活基礎調査によると、新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えや、がん検診の中止や規模の縮小などの影響もあり、がん検診受診率が低減したほか、全国平均を下回っています。

そのため、県では、市町村に御協力をいただきながら、受診率向上の施策を事例集にまとめました。、県内市町村の御担当者様におかれましては、本書を参考に、がん検診受診率の向上に引き続き、御尽力くださいますよう、お願いいたします。

埼玉県のがん検診受診率(%)

	埼玉県の受診率	目標値	目標値との差	全国平均
胃がん	37.6	60	▲22.4	41.9
大腸がん	43.0	60	▲17.0	45.9
肺がん	45.9	60	▲14.1	49.7
乳がん	42.5	60	▲17.5	47.4
子宮頸がん	38.2	60	▲21.8	43.6



※令和4年国民生活基礎調査より

※本書は、令和6年度国民健康保険保険給付費等交付金事業確認書の内容及び令和6年度中にいくつかの市町村にインタビューさせていただいた 内容に基づき作成しています。

がん検診受診率向上のための事例集

検診の案内・検診申込



受診勧奨



検診当日



精密検査



その他

検診ガイドの工夫 「けんしんパスポート」をパッと見てわかりやすく改善(加須市)

見直し前

令和5年度
加須市 けんしんパスポート
(がん検診受診券)

集団検診はWEB(インターネット)と電話のみの受付となります。

STP WEB
(インターネット)予約

受診当日の持ち物

文字が多い
情報量が多い

見直し後

令和6年度
加須市 けんしんパスポート
(がん検診受診券在中)

受診できる検診の種類

受診までの流れ

1 受診する場所を選ぶ

2 申し込む

3 受診する

見直しのポイント

- ① 申込方法の動作指示を分かりやすく示す…P3
- ② 検診の内容・対象者等をイラスト付で分かりやすく示す…P3
- ③ 検診票のデザインの見直し…P4
- ④ 胃がん検診確認書及び同意書を新たに掲載…P4

★ 見直しに至ったきっかけ

令和5年度がん検診受診率向上策等実行支援事業を受け、担当内で話し合い、課題の洗い出しを行った。「がん検診受診率向上ハンドブック(第3版)」に掲載の資料等を参考に、できることに取り組むこととした。

がん検診受診率向上のための事例集

検診の案内・検診申込



受診勧奨



検診当日



精密検査



その他

① 動作指示を分かりやすく示す

見直し前

おすすめ WEB (インターネット) 予約
※申込み期間中は24時間予約できます

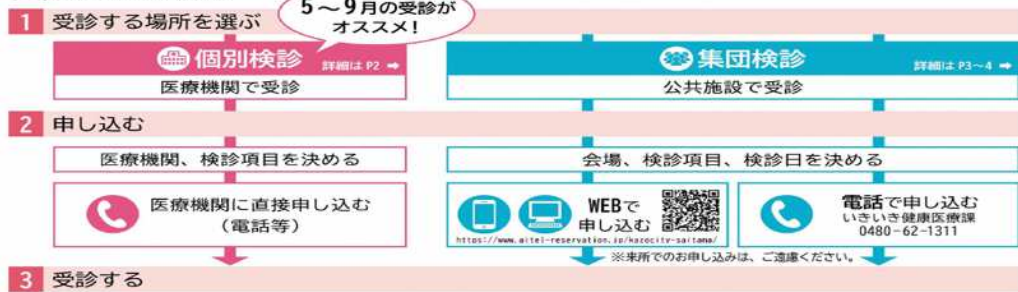
 <https://www.aitel-reservation.jp/kazacity-saitama/>

または **加須市けんしん予約** 



見直し後

受診までの流れ



フローチャートを用いることで、個別検診・集団検診それぞれの流れ、申込方法が**ぱっと見て分かる**ようになった。

② 検診の内容・対象者等を分かりやすく示す

見直し前

肺がん

全国的に男女ともに多いがんです！肺がんの死亡数：男性1位、女性2位
早期では、自覚症状がほとんどありません！早期発見できれば、生存率が高いがんです。
がん検診と禁煙はセットで！タバコを吸う人は、吸わない人に比べて肺がんで死亡するリスクが高くなります。
禁煙してご自身と周りの方の健康を守りましょう。
「要精密検査」となった方は必ず医療機関を受診してください！
精密検査は、CT検査や気管支鏡検査により行います。



見直し後

受診してください！命を守る大切な検診				
検診項目	受診する場所、検診内容	対象者	自己負担	受けることができない方
肺がん 死亡数が男女合わせて一番多いがんです。	 個別 ・胸のレントゲンにより肺の病変を診断する検査(65歳以上の方は肺結核検診同時実施) ・たんの検査(必要な方)	40歳以上 男女	無料	・肺の治療中、経過観察中、自覚症状のある方 ・妊娠中、妊娠の可能性のある方 ・インスリンポンプ、持続血糖モニターを装着中の方(自分で取り外しができない方)

検診内容・対象者等の情報を一覧にまとめることで、対象者の性別・年齢ごとに必要な検査と詳細がすぐに分かるようになった。
また、イラストを用いることで視覚的にも分かりやすくなった。

がん検診受診率向上のための事例集

検診の案内・検診申込



受診勧奨



検診当日



精密検査



その他

③ 受診券の見直し

見直し前

令和5年度		肺がん検診無料受診券	
受診券 番 号	フリガナ 氏名		
住所			
電話	生年 月 日	歳	

毎年受診しましょう **肺がん**

対 象 40 歳以上
 検査内容 問診・胸部 X 線撮影
 タンの検査(必要な方)
 ※65 歳以上の方は肺結核検診同時実施
 自己負担 なし

見直し後

令和6年度		肺がん検診 無料券	
受診券 番 号	フリガナ 氏名		
住所			
電話	生年 月 日	歳	

胃がん検診

自己負担額

個別検診 3,000 円 (NEW 自己負担 10,000 円
が 3,000 円に減額)

集団検診 無料

表面はデザインを工夫し見やすく改善した。
 裏面は不要な情報を削除し、自己負担額のみを掲載。
 無料の場合は関連する情報(禁煙等)を記載。

④ 胃がん検診確認書及び同意書を掲載

新規作成

バリウム検査を受診される方は下記をご記入の上、必ず当日お持ちください。

胃がん検診(バリウム検査)の確認書及び同意書

①～⑩に該当した方は、正しく検査ができなかったり、安全に検査ができない恐れがあるため、この検診は通しません。
 主治医とご相談の上、医療機関で受診してください。

① 食道、胃、大腸など消化器の切除をした(腹腔鏡下手術なども含む) ☐ いいえ ☐ はい

② 人工肛門を造設している ☐ いいえ ☐ はい

③ 病状などにより水分制限を受けている(透析や心疾患のため) ☐ いいえ ☐ はい

④ 過去の胃がん検診でアレルギー症状がでたことがある ☐ いいえ ☐ はい

⑤ 過去の胃がん検診で誤嚥をしたことがある(食べ物をよくむせる) ☐ いいえ ☐ はい

⑥ 立てない、痙攣がある、握力が弱い、あおむけや腰ばいになれない ☐ いいえ ☐ はい

⑦ 体重が130kg以上ある ☐ いいえ ☐ はい

⑧ 消化管穿孔、消化管急性出血、腸閉塞などの既往や疑いがある ☐ いいえ ☐ はい

⑨ 認知症や精神疾患により指示通りに動くことができない ☐ いいえ ☐ はい

⑩ 脳血管疾患の後遺症がある(麻痺など) ☐ いいえ ☐ はい

①～⑩に該当した方は、今回は受診できません。医療機関で受診してください。

記録の期間を超過し、治療や経過観察などが終了していれば、次回から受診できます。

⑪ 1年以内に消化管以外の手術をした(脳、心臓、腎、関節など) ☐ いいえ ☐ はい

⑫ 1年以内に心疾患や脳血管疾患を発症した ☐ いいえ ☐ はい

⑬ 6歳未満でから1年以上経過しているが、胃がん検診受診について主治医の許可をもらっていない ☐ いいえ ☐ はい

⑭ 現在食道、胃、十二指腸、小腸、大腸の疾患で治療中、経過観察中である ☐ いいえ ☐ はい

⑮ 【女性のみ】妊娠中または妊娠している可能性がある ☐ いいえ ☐ はい

⑯ 2か月以内に大腸ポリプスを切除している ☐ いいえ ☐ はい

①～⑩に該当した方は、本日受診できません。日を改めて受診するか、医療機関で受診してください。

① 当日、食事をとり、2時間以内に200ml以上の水分を飲んだ ☐ いいえ ☐ はい

② 3日間排便がない ☐ いいえ ☐ はい

③ 体調が悪い ☐ いいえ ☐ はい

④ 糖尿病の薬を飲んだり、インスリン注射をした ☐ いいえ ☐ はい

⑤ インスリンポンプ、持続血糖モニターを装着している ☐ いいえ ☐ はい

同 意 書

私は、胃がん検診(バリウム検査)受診にあたり、確認事項、注意事項を読み、同意のうえ検査を受診します。
 なお、検査後に緊急の事態が生じた場合は、速やかに自己責任のもと医療機関を受診することについても同意いたします。

公益財団法人 埼玉県健康づくり事業協会 令和 年 月 日

本人署名

事前に、バリウム検査の適不適を把握し、
 当日会場に来たが検査を受けられないという事態を
 防げるようになった。

がん検診受診率向上のための事例集

検診の案内・検診申込



受診勧奨



検診当日



精密検査

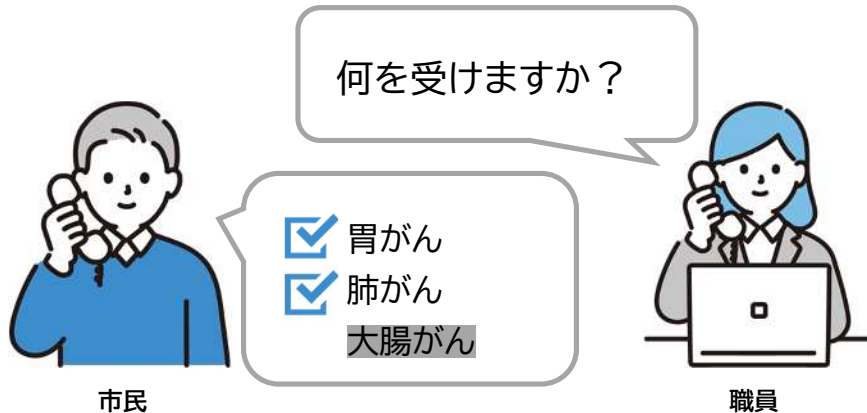


その他

複数受診の勧め

検診申込時、対象の検診全てを勧める対応を統一した(加須市)

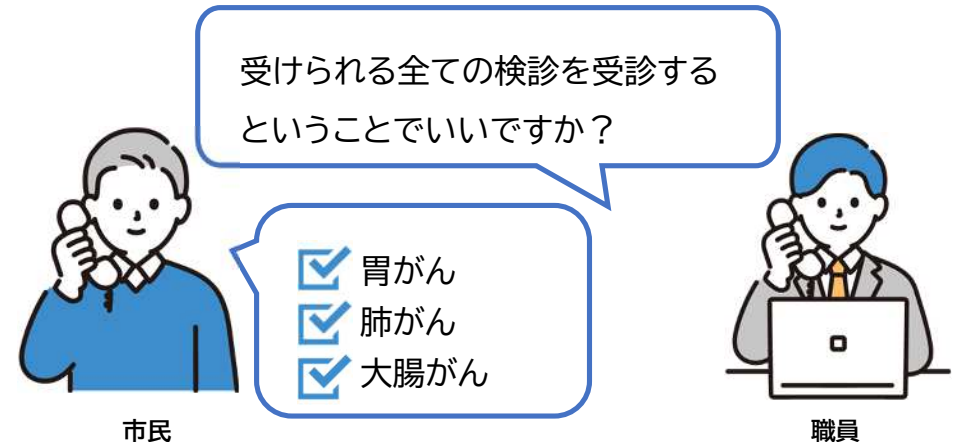
見直し前



課題

- 受診できるのに申し込まない検診が発生。
- 受診できる検診を追加で案内するか、しないかは、職員ごとの裁量により異なる。

見直し後



改善ポイント

- **受診できるすべての検診に申し込むことを前提に話をする。**
- 職員個人の裁量に任せず、対応を統一する。

がん検診受診率向上のための事例集

検診の案内・検診申込 ➡➡ 受診勧奨 ➡➡ 検診当日 ➡➡ 精密検査 ➡➡ その他

受診勧奨

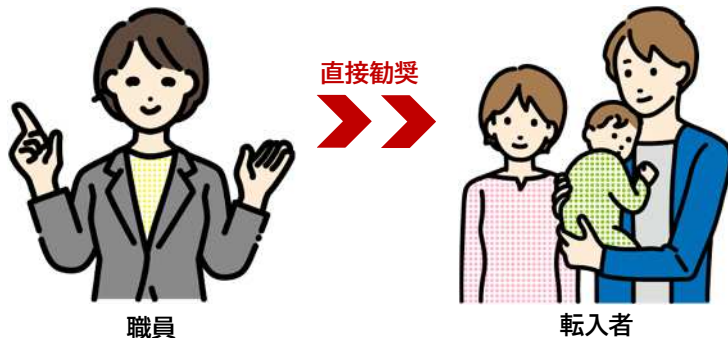
がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーンでの取組(さいたま市・熊谷市)

転入者への勧奨(さいたま市北区役所保健センター)

課題

- がん検診のハガキの郵送は、年度当初のみ。
- 転入者は自ら調べて、問い合わせる必要がある。

対策



- 集中キャンペーン月間の実施内容について担当内で話し合い、実施に至った。
- 既存のチラシに、がん検診はがき発行のHPに繋がる二次元コードのシールを貼付して新たなチラシとした。
- 転入手続きで来所した対象者に、職員が上記チラシを用いて直接、がん検診受診の案内をした。(10月以降も検診実施期間に合わせて継続実施)

リコール※の実施(熊谷市)

※リコール：個別受診勧奨しても受診しない場合に再度個別の受診案内をすること

課題

コロナ禍の影響により、受診者数が減少

対策

現状を分析し、リコールを実施

<コールへの取組>

- *コール対象の規模を拡大 検診対象年齢～80歳までの5歳刻み+51～54、56～59、61～64歳
- *産業振興部の「御用聞き便」を活用し、市内約1,000社に市のがん検診のチラシを配布
- *農業委員会の「農委だより」(季刊発行)に2回がん検診の記事を掲載し自治会の回覧版で周知

R2 40歳の未受診者へはがきでリコール開始
リコールした40歳は受診率を維持していることを分析

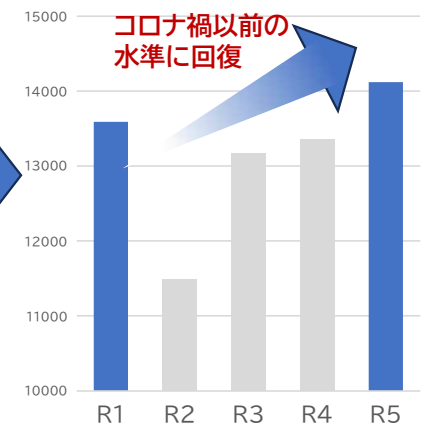
R3 40歳、50歳に規模を拡大
⇒受診率向上の効果を確認

R4 R2を受け予算獲得
⇒圧着はがきによるリコール開始

R5 40歳、50歳、60歳に規模を拡大して
リコール実施

R6 20、25歳の子宮頸がん未受診者へはがきでリコール開始
⇒5がん全てで更なる受診者数の増加を目指す

肺がん検診受診者数



がん検診受診率向上のための事例集

検診の案内・検診申込



受診勧奨



検診当日



精密検査



その他

利便性の向上

乳がんの検診を2日から1日に短縮
肺がん検診の当日呼び込みを実施(越谷市)

改善ポイント



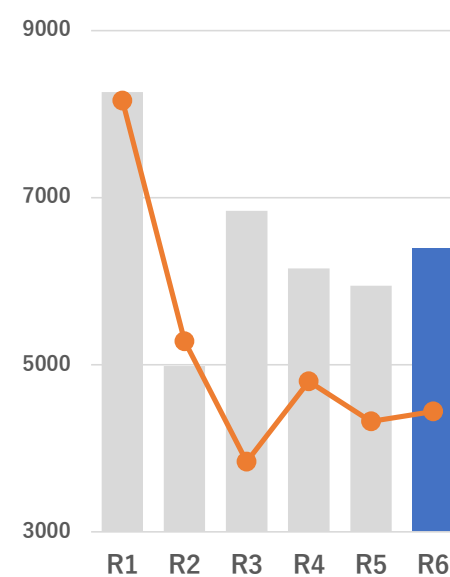
- ・視触診(医師)とマンモグラフィの2日程に分けて実施していた乳がん検診を1日に短縮。
- ・電子申請での検診受付や、SNSでの検診周知実施。



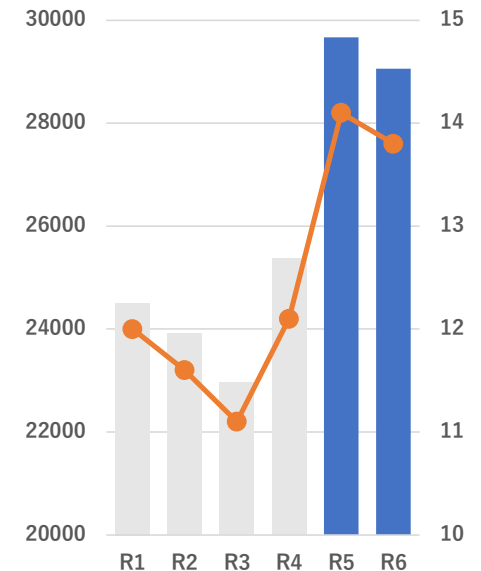
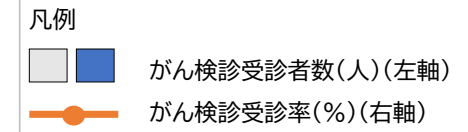
- ・特定健診の会場で、同時に肺がん検診も受けるよう担当者が声掛けを実施。(肺がん検診は予約なしで受診可能)

見直し後

受診者、受診率いずれも**増加傾向**



乳がん検診



肺がん検診

がん検診受診率向上のための事例集

検診の案内・検診申込



受診勧奨



検診当日



精密検査



その他

システム化

精密検査結果把握のため医師会と市で精度管理システムを構築(越谷市)

越谷市

精密検査機関

精密検査結果説明・報告

検診機関

検査結果説明・報告
精密検査受診勧奨
精密検査結果追跡

要精密検査者把握
未受診者リスト作成
精密検査受診勧奨

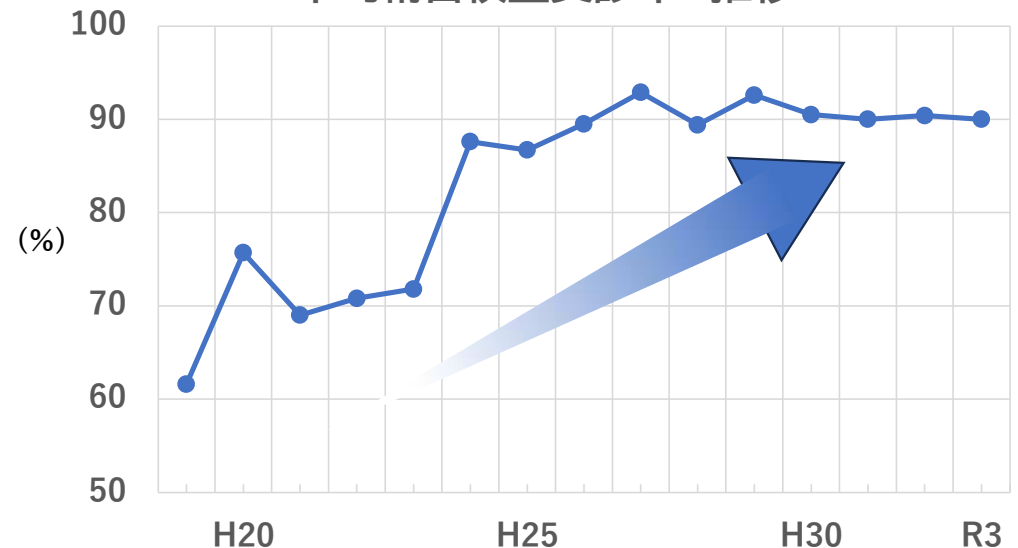
医師会事務局

検査結果提出

- ・ 医師会と協議を重ね、精密検査結果を確実に把握できる体制構築
- ・ 市だけでなく、検診機関からも受診勧奨
- ・ 市だけでなく、検診機関も精密検査結果追跡を実施

多方面からのアプローチで**精密検査受診率向上**を達成

平均精密検査受診率 推移



H19年度から5 がん(胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん)検診の平均精密検査受診率

【出典】第25回埼玉県健康福祉研究発表会 抄録集 第2部口頭発表6「医療機関との連携」より
掲載にあたり一部県加工

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/247422/2-6.pdf>

がん検診受診率向上のための事例集

検診の案内・検診申込



受診勧奨



検診当日



精密検査



その他

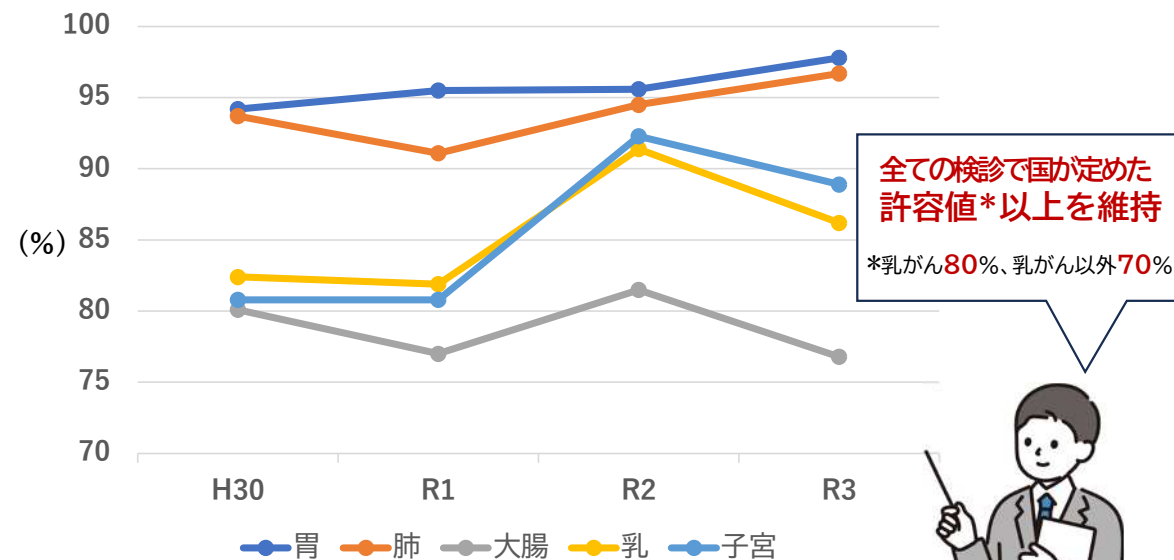
集団検診の結果説明会

専門職等から直接説明することで、高い精密検査受診率を維持(志木市)



- 集団検診日の約1か月後に開催。
- 結果の見方や、精密検査受診の流れを説明。
- 受け取った結果について、
管理栄養士、保健師などの専門職に相談可能。

精密検査受診率 推移(指針年齢)



データ出典:がん検診結果統一集計結果報告書(令和4年度集計結果)

がん検診受診率向上のための事例集

検診の案内・検診申込



受診勧奨



検診当日



精密検査



その他

医療機関向けの説明会

精度管理の内容を医療機関にフィードバック(三郷市)

見直し前

- 毎年12月頃に委託先の三郷市医師会を通して、精度管理と事業評価のためのチェックリストを個々の検診実施機関に配布。
- 翌年の9月頃に三郷市医師会にのみ集計結果をフィードバック。



課題

個々の検診実施機関の精度管理、事業評価のためのチェックリストのフィードバックが不足している。

見直し後

検診実施医療機関
チェックリストを配布



国が定めた事業評価のためのチェックリスト(検診機関用)
どおり実施できたか集計



医療機関向け説明会で
結果をフィードバック

改善ポイント

- 地域の医師会事務局と調整。
- まず最初に、市全体のがん検診のフィードバックから着手。
- 年度当初に健(検)診運営にあたっての医療機関向け説明会を実施し、市全体の精度管理、事業評価のためのチェックリストの集計結果をフィードバック。

がん検診受診率向上のための事例集

検診の案内・検診申込



受診勧奨



検診当日



精密検査



その他

担当内での話し合い・原因分析

5がんのデータ分析をルーチンで実施(越谷市)

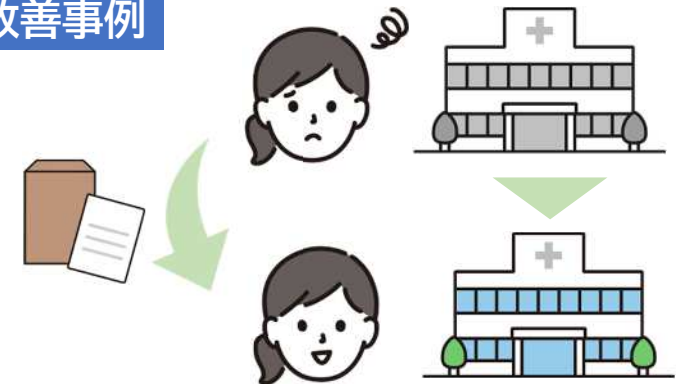


- 担当4人とリーダー1人の体制でがん検診業務に対応している。
- 毎月、がん検診担当者の打合せを開催。
- 圧着はがき、チラシの掲載事項を統一することで、別々の資材を作る時間を削減し、**がん検診について考える時間にあてた。**
- 高齢者向けイベントでチラシを配布すると、問合せ電話が多くきたが、内容を統一しているので担当でなくても対応できた。



- 前年同期と比較してどのがん種のがん検診受診状況が悪いのか、性別・年齢・地区・検診機関等に分けて分析。
- 再勧奨のお知らせをやみくもに送るのではなく、分析に基づきナッジ理論を用いて対象を選定し、効果がある人に郵送。
- 受けっぱなしにならないような体制づくりなどについて、年に1回医師会と話しあっている。

改善事例



- 子宮頸がん検診の受診率が例年に比べて低いので検証したところ、市内の受診者が多かった医療機関の閉院が理由と判明。
- 前年に同施設で受診し、今回未受診となっている人は約800人であった。
- その方たちを対象に受診可能な施設を案内する受診勧奨はがきを郵送。
- その年と次の年を合わせて、ハガキを出したうちの42%が受診した。

がん検診受診率向上のための事例集

検診の案内・検診申込



受診勧奨



検診当日



精密検査



その他

啓発活動・包括協定

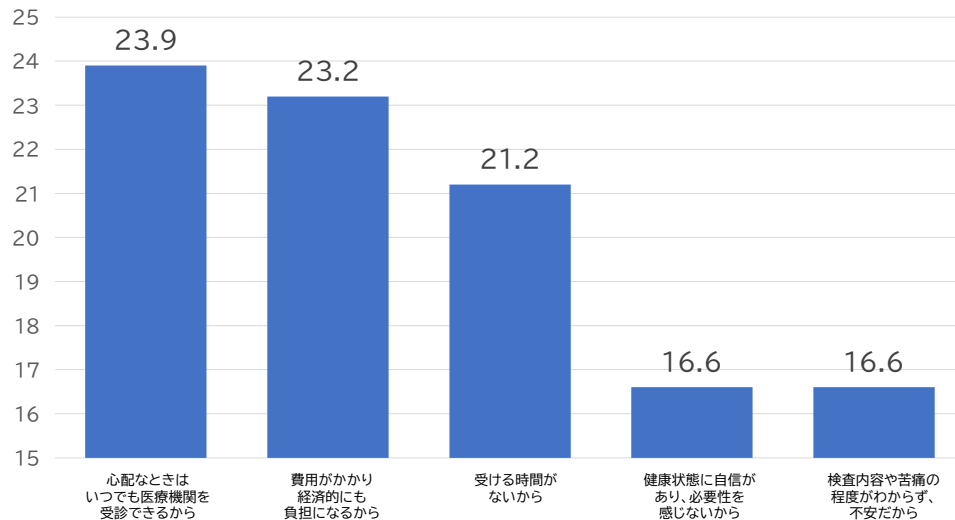
企業等と連携して普及啓発(戸田市)

課題

転出入の多い市であり、がん検診の重要性やがんに関する正しい知識について、市民が情報を得られる機会を多く持つ必要がある。

がん検診を受診していない理由

出典:内閣府のがん対策に関する世論調査(令和5年7月調査)調査結果の概要より



対策

- 健康福祉の杜まつりでがんの啓発を実施。
(「NPO法人ブレイブサークル運営委員会」の「大腸トンネル探検隊」とクイズラリーを活用、乳がん触診モデルの展示、乳がん触診グローブの配布等)
- 「一般社団法人がんと働く応援団」が発行する「**がん防災マニュアル**」の戸田市版を作成し、公共施設及び医療機関で配布。また、同団体の講師によるがん講演会を実施。
- 市と包括連携協定を結ぶ保険会社と協力し、がん検診受診啓発チラシやがん防災マニュアルを配布。



がんは2人に1人がかかる病気。

自然災害に備えるようにがんに対しても備えが必要。

- 普段の備え：がんの理解、がんになるリスクの低減、がん検診、経済的な点検等について説明。
- いざという時：がん治療、仕事との両立、接し方、信頼できる情報源と相談先等について案内。